

# 平成30年度 食育推進に係る実践報告書

学校名	三次市立十日市小学校
-----	------------

## 1 学校における食育の現状（昨年度からの課題等）

- ・生活リズム調査での朝食摂取率は97%と高率ではあるが、摂取していない児童や内容の充実には至っていない家庭がある。
- ・起床、睡眠、歯磨き、洗顔、メディア関係時間等、生活習慣に課題のみられる家庭がある。
- ・給食時間は決められた時刻までに配膳が整うクラスが多いが、準備に時間がかかる学級もある。

## 2 学校の食育に係る目標（成果指標・目標値）

（達成目標）食育の授業や保護者への情報発信を通して、食に対する関心を高め、実践を進める。

（成果指標）生活リズムアンケートを年2回実施し、朝食を食べて来る児童の割合を90%以上とする。

## 3 食育の目標に対する具体的な取組

### 【取組1】（テーマ） 教科における食に関する指導の充実にむけた取組

・年間指導計画に沿って、各学年3単元以上の食育授業を行った。外部講師を招いての出前授業も6回行うことができた。学習のまとめの発表に講師を招いた際には、出前講座で学んだ内容を生き生きと表現する場面もあった。食育授業は参観日を中心に実施し、保護者にも家庭での生活を見直すきっかけになるような内容を多く組み込み、授業を行った。授業後に保護者が児童を待つ時間を利用して、保護者対象に授業の内容を詳細に説明したり、家庭で行ってほしいことなどを説明した。また、懇談時には授業内容を深めるテーマや資料を提供した。



### 【取組2】（テーマ） 活動内容と給食献立の連携

・地場産の推進や総合的な学習の内容の充実に沿うよう、生産者と連携して食材と学習がつながるような献立作成を試みた。「グリーンピース」や「そらまめ」のさや剥き、「丹波黒大豆の枝豆」のさや挽ぎなどの活動や、「鮎の甘露煮」、「唐麺焼きそば」を授業日などに実食する等、実際に手にする、口にする体験を増やすことで関心を深めることができた。



### 【取組3】(テーマ) 食に関する啓発資料の発行と広報の取組

- ・生活リズムアンケートを年2回行い、結果と考察を保護者に配布し、参観日の授業内容や懇談や給食試食会での資料として活用し、啓発を図った。2月の参観日の食育授業は、学校が推進している「ニコニコ大作戦の日」と重なり、ノーメディアデーの話題として食について話をした家庭もあった。
- ・痩せと肥満のデータも学級毎の集約を行い、8月の職員研修では、給食の摂取基準の変更も合わせて、資料として活用できた。
- ・空き教室のランチルーム活用も定着し、試食会では保護者にも使用してもらい、使用趣旨を伝えられた。



### 4 「ひろしま給食100万食プロジェクト」の取組について

- ・今年度も市内の栄養教諭・栄養職員と連携し、三次市内高学年対象の「ひろしま給食親子料理教室」を企画・実施し、「ひろしま給食100万食プロジェクト」の啓発を行った。参加者の感想には「家でも作りたい」とか「来年も参加したい」等の感想があり、関心を持ってもらうことができた。市内統一の啓発資料も調理場単位で配布し広報した。



### 5 取組に対する成果と課題

【成果】・調査物に関しては、保護者による振り返りを通して、回を重ねるごとに意識が向上している。

- ・低学年でも食器の位置などを確認しながら、配膳が整う学級が増えた
- ・苦手なものでも、一口から食べようとする意欲がみられる児童が増えた。

【課題】・生活リズム調査に野菜の摂取の項目を入れたら、摂取率が70%に下がった。朝食の内容が充実するような啓発が必要。

- ・調査物の結果を知らせるだけに終わらず、よりよい生活が実践できるような内容に取り組む。

### 6 今後の取組に向けた改善方策について

- ・啓発資料は養護教諭や健康部の職員と連携し、その都度保護者に配布できた。取組に課題のある家庭に踏み込んだ個別指導はできていない。
- ・食や健康に関する内容は保護者の協力が不可欠の為、今後も啓発を増やしていく。